

# 皮膚がはがれ落ちる乾癬(かんせん)がなかなか治りません 治療法を組み合わせ治療しましょう

中野皮膚科クリニック  
http://www.nakano-derma.com/

腰やひじ、髪のはえきわなど摩擦が多いところに発症しやすい



赤い斑点とフケ状の皮膚癬ですが、指の関節など皮膚に悩まされる乾癬(かんせん)。その症状と治療法について日本皮膚科学会皮膚科専門医の中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

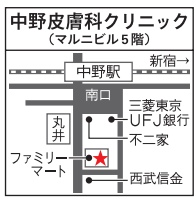
「一般的な病気ですか？」  
「通常1カ月かけて行り上がり、表面が白っぽいかさぶたで覆われてフケ状に皮膚がぼろぼろはがれ落ちる病気です。そのほとんどは尋常性乾癬です。遺伝的に発症してきます。遺伝的原因は？」

「通常1カ月かけて行り上がり、表面が白っぽいかさぶたで覆われてフケ状に皮膚がぼろぼろはがれ落ちる病気です。そのほとんどは尋常性乾癬です。遺伝的に発症してきます。遺伝的原因は？」

「治療法は？」  
「ステロイドや活性型ビタミンD3などの外用薬、皮膚の角化を抑えるレチノイド、シクロスポリンなどの飲み薬に加え、皮膚に紫外線をあて免疫の働きを弱める光線療法を行います。最近抗体を点滴して炎症を起こさないようにする生物学的製剤も保険適用になりました。慢性的な疾患なので、良くなったり悪くなったりを繰り返しますが、症状に合わせて治療法を組み合わせ治療しましょう」

要素に加え、ストレスや睡眠不足などの刺激、さらに肥満や飲酒などの生活習慣的な体質が原因とされています。日本では1000人に1人が発症しており、2対1の割合で男性に多いのも特徴です」

問い合わせ  
中野皮膚科クリニック  
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分  
☎03-5342-0722



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 19:00	○	○	○	○	○	17:00 まで受付

休診日:日曜、祝日  
院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師